

## 伊勢湾貧酸素情報（第 5 報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

伊勢湾の底層では溶存酸素量が低下しており、三重県側に沿って広い範囲で 2 ppm 以下の貧酸素水塊が形成されています。

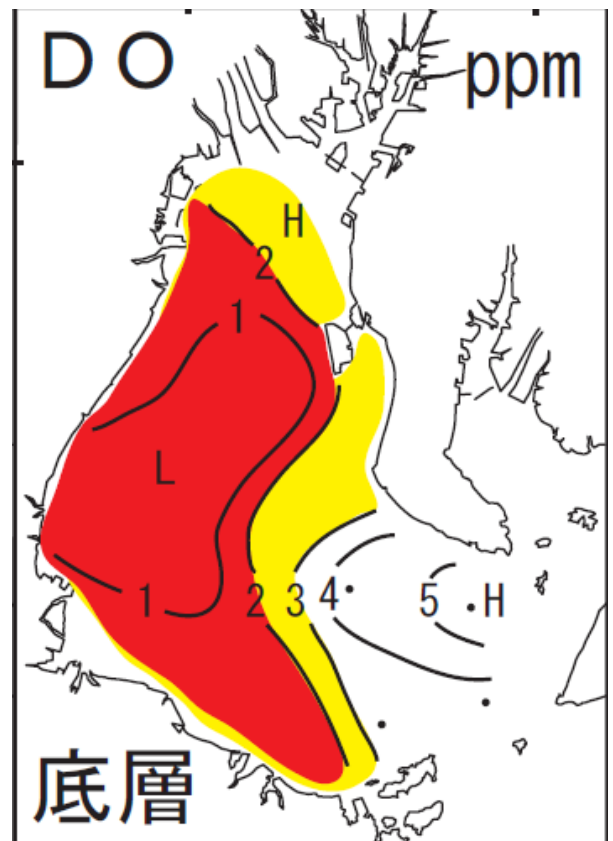
### 9 月 5 日の調査結果

9 月 5 日の調査船「あさま」の定線観測によると、水温は表層で 23.8～26.1℃、10m で 22.7～24.7℃、底層で 20.2～24.4℃ の範囲にあり、表層は平年よりやや低め、10m と底層では平年並からやや低めとなっていました。

DO（溶存酸素量）は表層で 4.9～6.7ppm、10m で 2.4～6.4ppm、底層で 0.02～5.9ppm の範囲にあり、表層は平年よりやや低めから低め、10m で平年並からやや高め、底層では平年並からやや低めでした。

底層では三重県の沿岸域に沿って広い範囲で 2ppm 以下の貧酸素水塊が形成されています。

成層化が継続しており、海水が混合しにくいいため、しばらく貧酸素状態は継続するものと思われます。



底層貧酸素水塊分布図